

地域振興は「連携・団結」から

人脈アプ

静岡県議会議員
野田 治久氏

25歳の時に修善寺温泉に帰郷。2年後に父の後を継ぎ、菊屋旅館15代代表取締役就任。地域発展のために、歴史や文化、伝統を守りながら磨き上げていくこと、先人の知恵や技術を次の世代に引き継いでいくことをテーマに、伊豆の観光振興員として、伊豆の有害鳥類対策を進めることで、伊豆半島には鹿が組んできました。さらに地域の散策道などの観光インフラが、正確な実態は掴めていないという。農作物の被害整備や祭り、イベントの復

【略歴】 1981年東京経済大学経済学部卒、97年~2012年修善寺温泉組合副理事長就任、01年~現在まで修善寺温泉組合理事長就任、07年修善寺温泉開湯1200年祭実行委員長、15年静岡県議会議員に当選、現在1期目。

や天城山系の自然植生保護活動とともに周辺の森林や川の環境整備にも取り組んでいます。2015年、さらなる地域発展のために、県議会に立候補し初当選。議員として、伊豆の観光振興などの他に鹿などの有害鳥類対策を進めることで、伊豆半島には鹿が組んできました。さらに地域の散策道などの観光インフラが、正確な実態は掴めてい

ないという。農作物の被害

整備や祭り、イベントの復

興など、伊豆を世界にPRする絶好のチャンスと捉えてい

原動力つくる

25歳の時に修善寺温泉に帰郷。2年後に父の後を継ぎ、菊屋旅館15代代表取締役就任。地域発展のために、歴史や文化、伝統を守りながら磨き上げていくこと、先人の知恵や技術を次の世代に引き継いでいくことをテーマに、伊豆の観光振興員として、伊豆の有害鳥類対策を進めることで、伊豆半島には鹿が組んできました。さらに地域の散策道などの観光インフラが、正確な実態は掴めてい

ないという。農作物の被害

整備や祭り、イベントの復

興など、伊豆を世界にPRする絶好のチャンスと捉えてい

る。そもそも日本の田舎、地域は多くの職人の文化がその原動力であったと思っている。の環境整備にも取り組んでいました。2015年、さらなる地域発展のために、県議会に立候補し初当選。議員として、伊豆の観光振興員として、伊豆の有害鳥類対策を進めることで、伊豆半島には鹿が組んできました。さらに地域の散策道などの観光インフラが、正確な実態は掴めてい

ないという。農作物の被害

整備や祭り、イベントの復

興など、伊豆を世界にPRする絶好のチャンスと捉えてい



三建（小野徹会長）は3月16日、熱海市内で平成28年度臨時総会を開催し、会員53名の内49名が出席しました。冒頭あいさつに立った小用指針」を出すとともに、

かりとした積算を行う「運

用指針」を出すとともに、

月16日、熱海市内で平成28

年度臨時総会を開催し、会

員53名の内49名が出席し

た。

冒頭あいさつに立った小

用指針」を出すとともに、

月16日、熱海

